

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名		一般国道467号 藤沢駅地区藤沢拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	神奈川県
起終点		自：神奈川県藤沢市藤沢 至：神奈川県藤沢市藤沢		延長		0.3 km	
<b>事業概要</b> 国道467号は、神奈川県大和市（国道246号）を起点とし、藤沢市（国道134号）を終点とする延長約2.1 kmの幹線道路である。藤沢駅地区藤沢拡幅は、交通渋滞の緩和及び歩行者の安全を目的とした、延長0.3 kmの現道拡幅事業（2車線）である。							
H7年度事業化		S32都市計画決定 (S45年度変更)		H7年度用地着手		H14年度工事着手	
全体事業費		24億円		事業進捗率		86%	
計画交通量		12,000台/日		供用済延長		0.0 km	
費用対効果分析結果		B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 10.5		総費用 (残事業)/(事業全体) 4/29億円 (事業費：4/29億円 維持管理費：0/0億円)		総便益 (残事業)/(事業全体) 42/42億円 (走行時間短縮便益：40/40億円 走行費用減少便益：2/2億円 交通事故減少便益：0/0億円)	
						基準年 平成16年	
<b>事業の効果等</b> ・歩行者、自転車のための生活空間の形成（交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある） ・無電柱化による美しい町並みの形成（電線類地中化5ヶ年計画に位置付けがある） 他12項目に該当（定量的評価項目含む）							
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道467号は、県の南北方向の骨格を形成する路線で、東京方面から湘南地域へ連絡する観光道路として、広域的な物流交通を担う重要な路線であり、沿道は藤沢駅など交通結節点と密接に関連して商業施設が多く、歩行者と車両の混雑が輻輳し危険な状態が続いていることから、早期完成への要望が強い。							
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 都心方面から湘南海岸方面への観光道路にも利用され、通過交通が多く渋滞が発生している。							
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 全体事業の約86%が完了しており、用地取得率は100%完了している。							
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・人家（商店）連担地区での現道拡幅であり、家屋の建替え及び移転等が多く、代替地などの要望が強い ため、用地交渉が難航していた。 ・電線共同溝整備に関する関係事業者との調整は完了しており、平成19年度末完成供用予定である。							
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生砕石の利用促進を図った。							
対応方針		事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b> 交通安全の向上、良好な都市環境の確保など、事業に対する地域の期待は高く、事業の早期完成の必要性・重要度は高い。							
<b>事業概要図</b>							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。